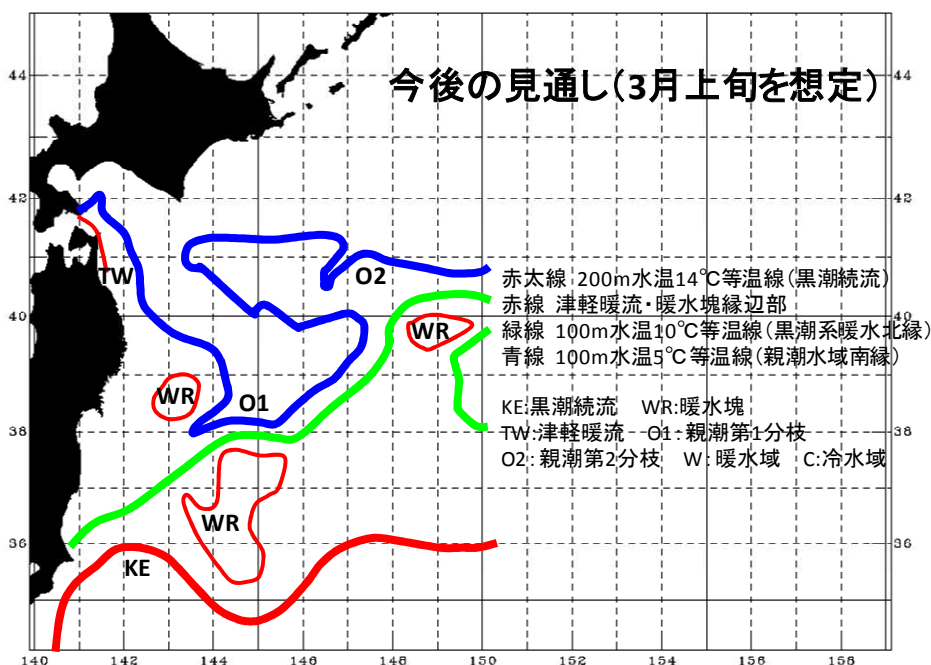


## 平成26年度 第5回 東北海区海況予報

—別表の水産関係機関が検討し独立行政法人水産総合研究センター  
北海道区水産研究所、東北区水産研究所がとりまとめた結果—

### 今後の見通し(平成27年3月～4月)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限位置はやや南偏で推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しは平年並み～やや南偏で推移する。
- ・ 三陸はるか沖と三陸近海の暖水塊は停滞し、常磐はるか沖の暖水塊は西進する。



### 問い合わせ先

独立行政法人水産総合研究センター 北海道区水産研究所 業務推進部

担当：塚本、大迫

電話：011-822-2131、ファックス：011-822-3342

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所 業務推進部

電話：022-365-1191、ファックス：022-367-1250

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

<http://tnfri.fra.affrc.go.jp/>

## 平成26年度東北海区海況予報 第5号

《今後の見通し（2015年3月～4月）》 （注）FRA-ROMSシステムによる結果

近海の黒潮続流の北限位置はやや南偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しは平年並み～やや南偏で推移する。三陸はるか沖と三陸近海の暖水塊は停滞し、常磐はるか沖の暖水塊は西進する。

《海況の経過（2014年12月～2015年1月）の特徴》 （注）FRA-ROMSシステムによる結果

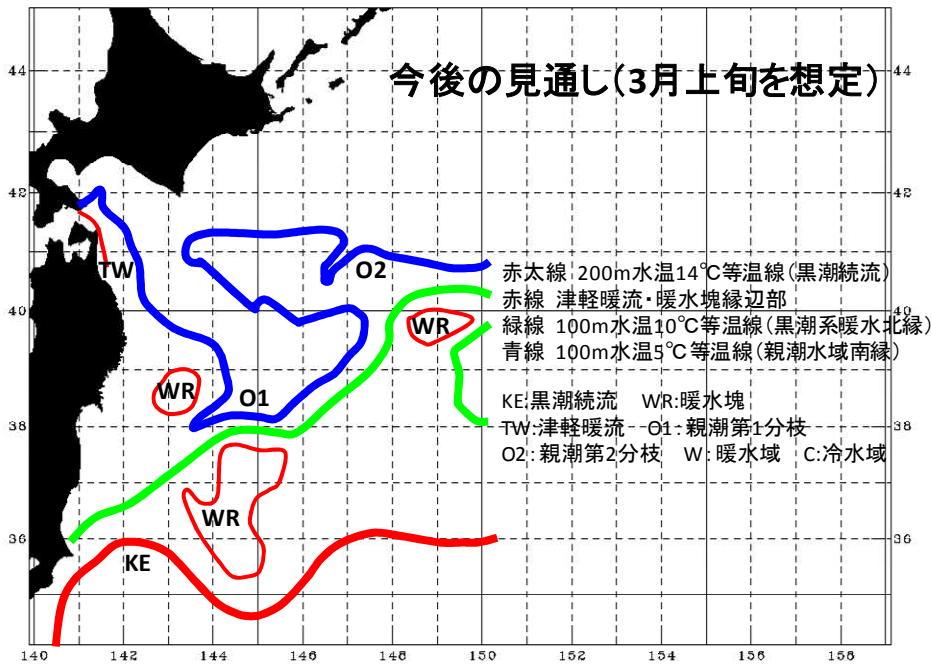
近海の黒潮続流の北限位置はやや南偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しは平年並みで推移した。釧路沖の暖水塊と金華山沖の暖水塊は消滅し、三陸近海の暖水塊は停滞した。

《現況（2015年2月上旬）の特徴》 （注）FRA-ROMSシステムによる結果

近海の黒潮続流の北限位置はかなり南偏、親潮第1分枝の張り出しは平年並みである。暖水塊が三陸はるか沖、三陸近海および常磐はるか沖にある。

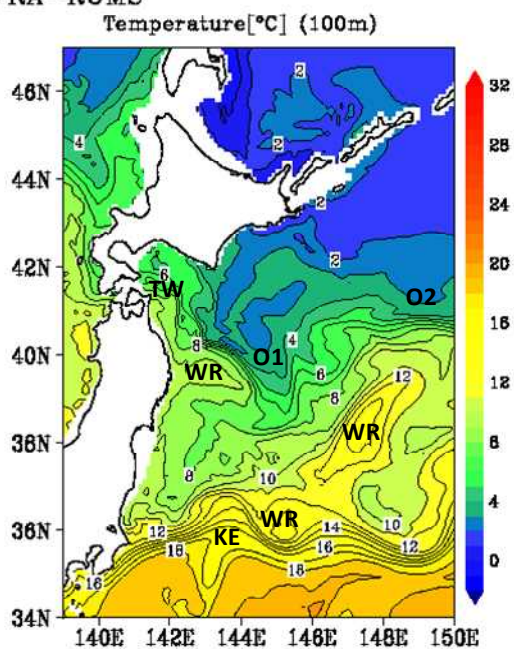
（注）この海況予報は、独立行政法人水産総合研究センターにより開発され、2012年5月より運用を開始したFRA-ROMSシステムを用いている。

### 3月上旬予測水温分布図



2月上旬現況水温分布図（100m深）

2015/02/06  
FRA-ROMS



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、WRが暖水塊、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流を表している。

## 参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p> <p>茨城県水産試験場</p>	<p>独立行政法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>独立行政法人 水産総合研究センター 北海道区水産研究所</p>
---	---